



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



2018～19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏



国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

新潟 RC 12月第 2 例会 (2018.12.11) No.3261

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様こんにちは。本日は、今、世界からも注目されている日本の刑事司法についてお話をさせていただきます。

日本の刑事司法は変革期にあります。

一つ目は、取調べの録音・録画制度の導入です。取調べの可視化と言われているものであり、一定の事件(裁判員制度対象事件及び検察官独自捜査事件)について、逮捕又は勾留されている被疑者の取調べの全過程の録音・録画を義務付けるという制度です。2019年6月までに施行されることになっています。私たちは、過去において、密室での虚偽の自白により、死刑判決を受けた冤罪事件が4件(いずれもその後の再審で無罪が確定)も発生していることを忘れてはなりません。取調べの可視化は冤罪を防止するために有効であると思います。課題は、取調べの可視化の対象事件が全事件の3%未満であることと、逮捕されていない被疑者や参考人の取調べは可視化の対象外であることです。

二つ目は、いわゆる日本版司法取引の導入です。この制度は、検察官が、弁護人の同意を条件に、被疑者・被告人との間で、被疑者・被告人が他人の犯罪事実を明らかにするための供述等をし、検察官が不起訴や特定の求刑等をする旨の合意をすることができるようにする制度です。ポイントは、被疑者・被告人が「他人の犯罪事実」を明らかにするための供述等をするということです。この制度は2018年6月1日から施行されています。日本版司法取引の対象事件は、広範囲であり、贈収賄、詐欺、薬物銃器犯罪に加え、脱税、独占禁止法、金融商品取引法、会社法、著作権法等の企業の経済活動に関わりの深いものも含まれています。企業犯罪に関しては、企業又はその役職員は、利益追求などの動機に基づき種々の犯罪行為を行ってしまうことがあり得るところ、このような企業犯罪は組織ぐるみで行われることが多く、罪証隠滅が行われやすい傾向にあります。加えて、このような企業犯罪は会社組織のためという大義名分が立ちやすいことから、役職員が犯罪行為を行うに当たっての心理的ハードルも低くなりがちです。この制度が典型的に想定

しているのは、社内の立場の下の者が、上位者の犯罪事実を明らかにする供述等をする場合ですので、今後は、企業犯罪の発覚が容易になるものと思われれます。企業の経営者、役職員には、一層のコンプライアンス経営が求められることになりま

す。最後は日本の刑事司法の課題についてです。一つ目は、弁護人を取調べに立ち会わせる権利・制度がないことです。反対論の主な理由は、弁護人の立会いを認めると、被疑者と信頼関係を築き、被疑者から真実の供述を得ることにより事案の真相を解明するという取調べの本質的機能が阻害されるおそれがあるというものです。諸外国はどうかというと、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、韓国などでは弁護人の立会権が認められています。日本の取扱いは、これまでも国際的に批判されてきましたが(例えば、国連の自由権規約委員会勧告等)、弁護人立会権の見直しは立っていません。

二つ目は、人質司法の問題です。日本では、逮捕・勾留されると、起訴まで最長23日間代用監獄で身柄拘束が可能になります。また、再逮捕という手法により、さらに、最長23日間身柄拘束が可能であり、さらに再逮捕を繰り返すことで長期間の拘束ができる制度になっています。また、起訴後は保釈制度があるものの、否認していると保釈が認められにくい傾向にあります。推定無罪の原則のもと、有罪判決が確定して初めて刑事罰(制裁)を受けることとなりますが、現実には、判決前の長期間の身柄拘束が制裁となっているのです。

他方で、日本においては、諸外国で広く認められる傾向にある、おとり捜査や通信傍受が限定的にしか認められておらず、捜査機関の証拠の収集方法に制約があることも事実です。

グローバル化を踏まえ、改めて私たちの国の刑事司法の在り方を考えてみる必要があると思います。

本日は、皆様の業務に関連する企業犯罪やコンプライアンスを切り口に、刑事司法についてお話をさせていただきました。

(3) 一年交換学生Rane Biekerさん

挨拶・お小遣い贈呈

・小飯田 澄雄君 12/4 野鴨を食べるかを予定通り実施致しました。27名の参加を頂き、又皆様から美味しいワイン等を頂きありがとうございました。お蔭様にて和気あいあいの内に幕を閉じ、ニコニコ致しました。

(4) ロータリーの友紹介（坂本信広報会報雑誌副委員長）

・吉田 和弘君 我が家に新しい娘ができました。レイン・ビーカーさんのホストファミリーになれたことにニコニコします。

(5) 委員会報告

・小林 建社会奉仕委員長より NHK 歳末助け合い募金のお願い

(8) 徳永 昭輝君へ米山功労者第 25 回メジャードンナ一感謝状贈呈

・樋熊紀雄国際奉仕委員長、国際大会PRビデオ放映

(9) 幹事報告（大澤 強）

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員)

井原 健至君 山本 正治君

・NHK 歳末助け合い募金 59,888円の御協力を頂きました。会長よりNHK 新潟矢野局長へ託します。

米山奨学会寄付発表(高木 言芳委員)

仙石 正和君 新田 幸壽君

(10) NHK 矢野達史新潟局長より謝辞

青少年育成基金寄付発表(本間 彊副委員長)

先般、ご逝去されました故大谷正雄名誉会員は新潟ロータリークラブの50周年記念事業として「青少年育成基金」を創設されました。哀悼の意を表し謹んで本日のご寄付を発表致します。ご寄附を頂いた会員の皆さまに御礼申し上げます。

(11) 会員スピーチ「社会奉仕委員会の活動について」

小林 建社会奉仕委員長

細野 義彦君 町田 智君 中尾 嘉則君
小松 茂樹君 佐藤 隆夫君 金井 政則君
高橋 秀松君 内山 清君 高木 言芳君
佐藤 邦衛君 井原 健至君 徳永 昭輝君
河西弘太郎君 山田 隆一君 井東 昌樹君
石川 治壺君 池田 修人君 石本隆太郎君
高橋 康隆君 山本 正治君 栗原 美樹君
内田 直紀君 小飯田 澄雄君 藤井 邦之君
本間 彊君

(12) 12月11日例会の出席率 84.27%

会員数 93名（出席免除会員 8名）

出席者 75名（出席免除会員 4名を含む）

(2週間前メーク後 83.33%)

(7) ニコニコボックス紹介（武田 慎二委員）

・東方 幸雄君 誕生日プレゼントありがとうございました。毎年家内が楽しみにしています。

・務台 昭彦君 結婚記念日のお花ありがとうございました。12月8日の海戦記念日ですが今は平和な夫婦関係が何とか続いています。

・坂井 賢一君 誕生部プレゼントありがとうございました。この12月10日で65才になりました。これからはJRのジパングを使い日公庫ではシルバー割引を使い日本全国に羽ばたきます。

12月25日の例会予定

「会員スピーチ」

職業奉仕にまつわる話 石橋 正利職業奉仕委員長

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>